



あさのちゃんねる

vol.38

2021年 夏号
(年4回発行)

特集

「安心して在宅・施設復帰するために！
地域包括ケア病棟の役割」

地域包括ケア病棟医長
小峰 医師 インタビュー



連携登録医のご紹介
東金沢整形外科クリニック

院長 **林 美希** 先生



喉が渇いてなくても
意識して水分を
とるとよい

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を目指します。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

安心して在宅・施設
復帰するために！

地域包括 ケア病棟の役割

当院では2016年に地域包括ケア病棟を開設し、患者さんが安心して在宅・施設復帰できるように柔軟なケアと幅広い支援を行っています。病棟の医長であり、整形外科医の小峰医師がその特徴や対象者について解説します。

ご家族のためでもある 地域包括ケア病棟

皆さんは「地域包括ケア」と聞いて、どんなイメージを持つでしょうか。もしかすると、あまり聞きなれない言葉かもしれません。地域包括ケア病棟は、病気やケガの治療がひと段落した患者さんがスムーズに自宅や介護施設へ復帰するためのケアを行っています。医療、看護、リハビリテーション、福祉を4本柱としたケアを行い、患者さんが少しでも不安のない状態で地域の暮らしに戻るための準備をする病棟です。

当院では2016年に地域包括ケア病棟を開設しました。さまざまな科の患者さんが入院されていますが、その対象は大きく分けて3つのタイプがあります。一つは、急性期の入院治療によって症状が改善したものの、在宅・施設復帰に向けてもう少し治療やリハビリ、経過観察が必要なケース。次に、退院後に介護サービスを導入する準備や介護施設への入所の支援が必要なケース。そしてもうひとつが、急性期病棟へ入院するほどではないものの、在宅や施設での看病が難しく、一時的に入院するケースです。地域包括ケア病棟を開設する以前は、急性期と慢性期のいずれの対象でもない患者さんの受け皿が乏しいのが現状でした。例えば、私が診ている整形外科のケースで説明すると背骨の圧迫骨折で入院した場合、国が推奨する入院期間は16日、大腿骨の骨折なら23日です。しかし、安心して在宅療養へ戻れるまでには、もう少し入院期間が必要な場合がほとんどです。地域包括ケア病棟の開設により、急性期の入院治療を終えた患

地域包括ケア病棟医長
整形外科副部長

こみね のぶひと

小峰 伸彦

日本整形外科学会専門医

趣味

バスケットボール、スポーツ観戦、読書（ミステリー）

好きな言葉

勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし

診察日

月・火・木曜の午前、第3土曜の午前



者さんが安心して退院できるまで、当院内で医療から福祉まですべてのケアができるようになりました。リハビリテーション科とも連携しており、リハビリのスタッフが退院後の生活を見据えたリハビリメニューを考えています。患者さんの自宅へお伺いし、生活動線の確認をしながら手すりの設置などを提案することもあります。

高齢のご夫婦と一緒に入院されるケースが増加

先ほど説明したとおり、地域包括ケア病棟は、急性期病棟に入院するほどではないものの、さまざまな理由から入院が必要な方のケアも行っています。整形外科には腰痛の患者さんが多く来院されますが、骨折していない場合は急性期病棟には入院できません。しかし、家で療養するにはご家族の負担が大きすぎる場合、一時的に地域包括ケア病棟へ入院していただくことがあります。また、患者さんご本人は自宅療養をしたいが、看病をするご家族がどうしても不在になってしまう期間がある場合も対象になります。そして、近年増加しているのが、高齢のご夫婦で、奥様に入院治療が必要になり、ご主人を一人で自宅に残せないで、ご夫婦一緒に入院されるケースです。ご親戚が近くにおらず、途方に暮れている患者さんに、ご夫婦での入院を提案するととても喜ばれます。このような理由での入院は以前では考えられませんでしたし、開業医の先生方も可能であることをご存じないかもしれません。地域包括ケア病棟では患者さんご本人はもちろん、ご家族の方も自分らしく地域で暮らすことを目的にしているので、幅広い支援をしています。しかし、その点の認知度がまだ低いため、皆さんにもっと知っていただくことも課題だと感じています。

地域包括ケア病棟では、「患者さんご家族がどのような在宅療養、もしくは施設療養をしたいか」という目的を決め、それに向けて適切なケアをしています。高齢

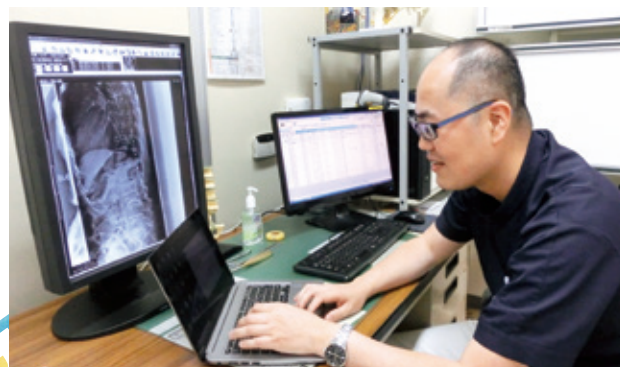
化社会において認知症の患者さんが増加していますが、病状が進むと在宅療養が難しくなる場合もあり、将来設計の軌道修正が必要になります。私たちはその都度、主治医や看護師、薬剤師、リハビリステーションや福祉分野のスタッフが知恵を出し合い、患者さんご家族にとって最善の選択を一緒に考えていきます。

「負けに不思議の負けなし」、コミュニケーションエラーをなくす

私が医師を目指したのは小学生の頃です。家族など身近に医師をしている人がいたわけではなく、自然と志しました。ずいぶん前のことですが、医師になったばかりの頃のある失敗が忘れられません。その日は9月9日、奇しくも救急(きゅうきゅう)の日、骨盤骨折で運ばれてきた患者さんに適切な処置ができず、ICUの先輩医師に叱られたことがありました。この時、できないことがあることの辛さを思い知らされ、医師としてのスキルを磨いてきました。

医師としてさまざまな経験をする中で、ストンと腑に落ちたのが、名将・野村克也氏の「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という言葉です。負ける時には何かしらの敗因があるという意味で、医療でも思うような結果が出せない時は必ず原因があります。それが医療の知識や技術だけでなく、患者さんご家族とのコミュニケーションエラー(誤った情報伝達)も含めて医療者側にあってははいけません。患者さんご家族の言葉に耳を傾け、思いを大事にした医療を心掛けています。

高齢者の皆さんが地域で自分らしく暮らせるように、地域包括ケア病棟のスタッフがサポートさせていただきます。私たちにとって、ご家族の皆さんも患者さんご本人と同様に大切な存在です。介護や看病における困りごとがあれば、遠慮せずにご相談ください。

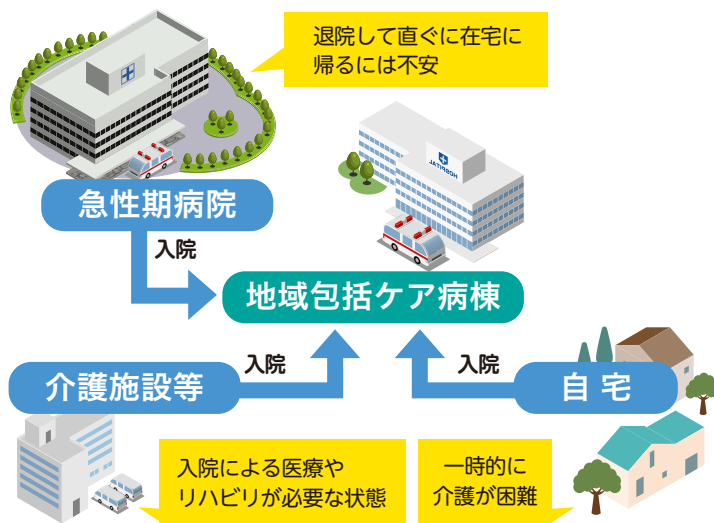


地域包括ケア病棟では、**在宅で自分らしい生活を継続して送っていただける**よう様々な方を支援しています。

- 急性期治療を終了し、状態が安定したものの直ぐに退院して在宅に帰るには不安がある方
- 在宅で療養中、もしくは介護施設などに入所中で、入院による医療やリハビリが必要な状態の方
- 介護される方の休息や個別の事情などにより一時的に介護が困難となった方 など

お気軽に入退院支援センターへご相談ください。

《地域包括ケア病棟利用のイメージ》



入院期間

- 入院期間は、利用される方の状態や目的により異なりますが、**最長60日**です。
※レスパイト入院の入院期間は、原則、1回につき**数日から最長2週間**です。
- 入院日は、**月曜日から金曜日の平日**となります。
※介護者の負担軽減を目的とした短期間の入院。

入院の流れ



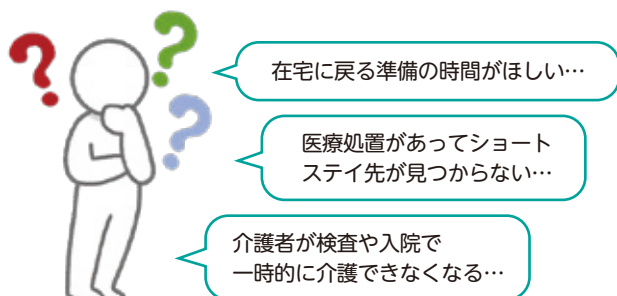
入院の申し込みのご連絡は、

- 病院で入院中の方は、病院の退院支援担当者にご相談ください。
- 在宅で療養中の方は、かかりつけ医、担当ケアマネージャー、地域包括支援センター担当者を介してご連絡ください。

※入院を希望される方の状態によっては、外来受診をして頂く場合もございます。また、急性期病棟に入院してご本人の状態を観察の後に地域包括ケア病棟へ入棟となる場合もございます。

《地域包括ケア病棟入院申込先》【連絡先】076-252-2101(代) 【担当】入退院支援センター:松多、柳村

『どうしよう?』と悩む前に お気軽にご相談ください。



《よくある質問》

Q どんな介護度の方でも入院できますか?

A 介護認定の有無、介護の重症度に関わらず、受け入れは可能です。

Q 在宅酸素療法中の方でも入院できますか?

A 入院できます。介護施設に入所困難な経管栄養(経鼻胃管、胃瘻)や褥瘡処置、点滴、インスリン注射、人工透析が必要な方も受け入れは可能です。

Q いつでも直ぐに入院できますか?

A 病床数が限られていますので、利用希望日が決まっているようであればお早めに入退院支援センターへご連絡ください。また、急な場合でも対応できる場合がありますのでご相談ください。

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市三池栄町の

『東金沢整形外科クリニック』を紹介いたします。

整形外科といえば、まず第一に「生じてしまった怪我の治療をするところ」というイメージがあるのではないのでしょうか。私も医師になってからの16年間、手術も含め怪我の治療を中心とした医療を行って参りました。しかし、怪我の予防を徹底的に行うことや手術の前に十分なリハビリを行うことの必要性を感じ、それらを中心とした治療を行うために当院を開業させて頂きました。

そこで当院の特徴を3つ紹介させて頂きます。

- ① 広々と運動療法ができるように建物2階全てがリハビリ室
- ② 迅速かつ正確な診断を行うためにレントゲンの他にMRI・骨密度測定(DEXA)・超音波(エコー)を導入
- ③ 様々な世代の患者様に適切な運動療法を提供できるよう、想いを持った理学療法士達が日々研鑽を積んでおります。

今後は地域の医療機関様と連携させて頂き、地域のためにしっかり役割を果たせるように精進して参ります。これからどうぞ宜しくお願い致します。



クリニック外観

連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



院長 林 美希 先生

東金沢整形外科クリニック

診療科：整形外科 リハビリテーション科
 専門医資格：日本体育協会認定スポーツドクター
 日本整形外科学会専門医
 日本抗加齢医学会専門医
 略歴：金沢大学医学部卒
 金沢大学病院、厚生連高岡病院、
 福井済生会病院、富山済生会病院
 舞鶴共済病院、射水市民病院等勤務

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	○	○	○	○	○	/	/
15:00~19:00	○	○	○	○	○	/	/

休診日：土、日曜日、祝日

住所：〒920-0809
 金沢市三池栄町323
 電話：076-251-8843
 駐車場：あり
 アクセス：JR東金沢駅より徒歩8分



新型コロナワクチンについて

新型コロナウイルス感染症のまん延防止を期待して、ワクチン接種が進められています。現時点(2021年7月)で、日本で承認されているワクチンは3種類ありますが、**接種が行われているのはファイザー製とモデルナ製のワクチンです**。いずれもmRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンと呼ばれる新しいタイプのワクチンとなりますのでご紹介します。

■日本で接種が行われているワクチン

	ファイザー社	モデルナ社
1回接種量	0.3mL	0.5mL
接種回数(間隔)	2回(21日間)	2回(28日間)
1瓶あたりの用量	6人分	10人分
接種対象者	12歳以上	12歳以上
有効率※	95.0%	94.1%

※(参考)インフルエンザワクチン:約40~60%



mRNAワクチンとは

ウイルスのタンパク質をつくるもとになる情報の一部を注射します。それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫を獲得するワクチンです。

ワクチンをうけた後の体調変化について

接種後15~30分程度は接種施設で様子をみます。接種後に注射した部分の痛み、頭痛、筋肉や関節の痛み、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、数日以内に回復しています。まれな頻度で急性のアレルギー反応(アナフィラキシー)がみられることがあります。

ワクチンを受けた後の発熱や痛みが出た場合の対応

解熱鎮痛薬で対応いただくことも考えられますが、特に下記のような場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。症状が出る前の予防的な服用については、推奨されていません。

- すでに薬を内服している場合や、妊娠中、授乳中、ご高齢、胃・十二指腸潰瘍や腎機能低下など病気治療中の場合
- 薬などによりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある場合
- 激しい痛みや高熱など、症状が重い場合や、症状が長く続いている場合

ワクチンを受けた後、生活上の注意点

当日は激しい運動や過度の飲酒などは控えましょう。お風呂に入っても構いません。できるだけ接種当日や翌日に無理をしないですむように予定を立てておくといよいでしょう。

新型コロナウイルス感染症の検査について

新型コロナウイルス感染症の検査法は様々な種類があります。

浅ノ川総合病院 検査部では、3種類の検査法を適時に利用して対応しています。

LAMP

2020年2月21日に石川県で1例目の新型コロナウイルス感染者が確認され、当院では、2014年に結核菌の検査目的で導入したLoopamp EXIA (栄研化学) を用いて、2020年4月末よりLAMP法にて院内での検査を開始しました。

LAMP法とは、PCR法と同じく核酸を増幅させて検出する遺伝子検査で、PCR法とほぼ同等の感度がありながら、温度の上げ下げを繰り返して増幅するPCR法に対して、一定温度(65℃付近)下で、増幅から検出までを1ステップで行う事ができるため、35分と短い時間で検出・判定できるメリットがあります。現在では測定器を4台に増設し、日常業務時間帯の新型コロナウイルスの検出検査に利用しています。

NEAR

2020年12月に時間外や休日での検査を目的にLAMP法と同じ等温核酸増幅法の一つである、NEAR法を用いたID NOW (アボット) を導入しました。

ID NOWでは検体の前処理が不要で、複雑な手技もなく、キット化されたカートリッジをセットする簡便なワークフローで、測定を開始すると13分で結果判定ができ、迅速性に優れます。ただし、1検体ずつの測定になります。

PCR

今回更に、PCR法の遺伝子解析装置cobas z480 (ロシュ) を導入しました。LAMP法と比較して、前処理が煩雑で、検査には熟練した技術が必要であり、増幅反応時間も長いですが、汎用性があるため、新たな感染症の発生時等には、いち早く対応できることが期待されます。



測定器	cobas z480	Loopamp EXIA	ID NOW
検査法	PCR	LAMP	NEAR
最大架設数	96	16	1
前処理	必要(煩雑)	必要	不要
増幅反応時間	75分	35分	13分
増幅曲線	あり	あり	なし
検査所要時間	約2時間	約1時間	約15分

データで見る 浅ノ川総合病院

令和2年度、当院を受診した患者さんの数や、診療行為の実績、診療した疾患の上位などを掲載いたします。

・1日平均外来患者数・

518.0人

1日あたり外来を受診した患者さんの数です

・1日平均入院患者数・

435.5人

1日あたり入院された患者さんの数です

・救急車搬入数(年間)・

1,828件
(1日あたり5.0件)

救急車で搬入された患者さんの数です

・紹介患者数(年間)・

6,242人
(1日あたり17.1人)

他の医療機関から紹介された患者さんの数です

・逆紹介患者数(年間)・

3,437人
(1日あたり9.4人)

他の医療機関に紹介した患者さんの数です

・手術件数(年間)・

4,530件
(1日あたり12.4件)

入院手術と外来手術を合わせた件数です

・放射線治療患者数(年間)・

428人

ガンマナイフ・ノバルスによる放射線治療を行った患者さんの数です

・透析患者数・

167人

当院で透析を行なっている患者さんの数です

・診療科別主要手術・

診療科ごとに件数の多かった手術を表示します

眼科 …… 白内障手術／増殖性硝子体網膜症手術
硝子体茎離断術

内科 …… 内視鏡的大腸ポリープ切除術
内視鏡的胆道ステント留置術

外科 …… 腹腔鏡下そけいヘルニア手術
腹腔鏡下胆のう摘出術

泌尿器科 …… 経尿道的尿管ステント留置術

整形外科 …… 骨折観血的手術(大腿)
経皮的椎体形成術

・疾患別患者数ランキング・

当院を退院した患者さんの数が多い順に並べています

- 1位 …… 白内障
- 2位 …… 脳腫瘍
- 3位 …… 大腸ポリープ
- 4位 …… 脳梗塞
- 5位 …… 誤嚥性肺炎
- 6位 …… てんかん
- 7位 …… 腎臓・尿路の感染症
- 8位 …… 前庭機能障害
- 9位 …… 股関節・大腿近位の骨折
- 10位 …… 肺炎等



地域の方々に当院についてさらに深く知っていただきたいという意味をこめて、臨床指標などの情報をホームページ上で公開しています。ぜひご覧ください。

新任医師紹介



形成
外科

かみむら ゆり
上村 百合

大学病院と連携し、けが、やけど、できものなどの診察・治療を行っています。美容の診療もしておりますので、お気軽にご相談ください。

専門分野／一般形成外科

お知らせ

✿ お盆休みのお知らせ

令和3年8月16日(月)はお盆休みにつき、外来診療を休診いたします。
(救急の場合は救急外来で対応いたします)

お問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。
TEL:076-252-2101(代) URL:<http://www.asanogawa-gh.or.jp/>
メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

